

優秀賞を受賞した絵本作品「不思議なスープ屋さん〜猫おじさんと港のクリスマス〜」の原画を前に、賞状を手にするねこのうみさん



道内の自然、文化がテーマ デジタル絵本コンテスト

函館市内の、ねこのうみちひろさん（イラスト）と三谷乃亜さん（文）の絵本作品「不思議なスープ屋さん〜猫おじさんと港のクリスマス〜」が、道内の自然や文化などをテーマに、子ども向けの創作絵本を募集した「第1回北海道デジタル絵本コンテスト」（北海道デジタル出版推進協会主催）で優秀賞を受賞した。（押野友美）

イラスト ねこのうみちひろさん

文 三谷乃亜さん

コンテストは道内の出版社などへの同協会が多くの人に電子書籍に親しんでもらおうと初めて企画した。道内からの応募の応募があり、審査の結果、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、特別賞1作品を選んだ。

イラストを手がけているねこのうみちひろ（本名・志村千尋）さんと、大学時代からエッセーや詩、散文など文章を書いている三谷乃亜さん（本名非公明）は友人で、同コンテストを知ったもののうみさんが合作での出品を提案した。

受賞作「不思議なスープ屋さん」は、クリスマスイベント会場を訪れて迷子になった少年が、屋台で大きな猫のおじさんと交流する心温まるストーリー。ねこのうみさんの「猫を出したい」という要望を取り入れて、三谷さんが好きな「ほこたけクリスマスファンタジー」を題材に文章を執筆した。

クリスマスファンタジー題材

文章に合わせてねこのうみさんがイラスト15枚を描き、2人でやりとりを繰り返しながら作品を仕上げた。絵本に登場する猫のおじさんは、ねこのうみさん自宅の近所にいる猫がモデルになっている。

初めて出品したコンテストでの優秀賞の受賞に、三谷さんは「びっくりした。（ねこのうみさん）文章を膨らませて考えて絵を描くのに感激した」と話し、ねこのうみさんは「不安はあったが、三谷さんの文章は自分になじみのを出してくれた。自信になった」と喜ぶ。

今後はそれぞれコンテストに挑戦し、その後も合作もしたいという。

作品は札幌市電子図書館（<https://web.d-library.jp/saporoelib/gold/top/>）、北海道デジタル出版推進協会（<http://www.hokpapa.jp/>）の各ホームページで閲覧できる。

「不思議なスープ屋さん」優秀賞

北海道新聞 函館・道南版夕刊
地域情報版「みなみ風」
2022年4月14日(木)